

情勢報告（平成 28 年 9 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

基礎的知識の習得を目指して～ＪＡ土佐くろしお青年部中土佐支部勉強会開催～



「土の健康状態は？」勉強会の様子

9月1日にＪＡ土佐くろしお青年部中土佐支部主催の勉強会が久礼支所で開催され、農家13人、関係機関2人が参加しました。振興センターから土づくりや土壌診断の重要性、肥料の使い方などを説明しました。

参加者からは、「分りやすかった。」「土壌診断結果を参考にして今後に生かしたい。」「次は、農薬のローテーションなど効果的な使い方を勉強したい。」などの感想や積極的な意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して後継者の育成を行います。

6次産業化の可能性を探る～6次産業化入門講座開催～



6次産業化入門講座

8月23日に6次産業化入門講座をＪＡ土佐くろしお本所にて開催し、農家3人、関係機関6人が参加しました。講師に6次産業化サポートセンター坂本真由美氏を招き、6次産業化の基礎、支援して気付いた点、県内事例、サポートセンターの活動など講演いただきました。

参加者からは、「みそ加工を発展させたいと思うが、新しいことはまだやっていない」「6次産業化の商品はスーパーで扱いにくい」などの意見が出ました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して6次産業化を推進します。

つの茶のさらなるレベルアップを目指して！～茶生産組合役員会を開催～



茶GAPを説明する茶担当者

9月13日、茶生産組合役員会がＪＡ津野山営農センター輝で開催され、役員11人、ＪＡ2人が参加しました。

ＪＡは平成28年度茶販売額等の実績を報告しました。

農業改良普及課は今年度から生産組合で試行的に実施している茶GAPについて説明しました。「なぜGAPに取り組むのか」や、「具体的な手法はどうするのか」といったことを意識して説明した結果、今後の取組みに賛同を得ることが出来ました。

農業改良普及課は、今後もＪＡ等関係機関と連携して茶GAPのチェックシートの作成支援等により産地のレベルアップを図っていきます。

増収・増益に向けて！～環境制御技術講演会及び成果発表会を開催～



講演会風景

9月16日に環境制御技術講演会及び成果発表会をＪＡ土佐くろしお集出荷センターで開催し、64人（内生産者25人）が参加しました。

講演会及び成果発表会では、環境制御技術に関係する光合成と増収の関係、ミョウガの試験結果、ニラの電照効果、キュウリやシシトウの増収効果について講師に発表してもらいました。参加した生産者の質問も多くあり、環境制御技術への関心の高さがうかがわれました。

農業改良普及課は、生産者の増収・増益につながる環境制御技術の普及に向けて、さまざまな取り組みを行っていきます。